

小学校 第5学年 国語科 学習指導案

北海道新篠津村立新篠津小学校
教諭 吉成 拓人

単元名 言葉の文化③ 「古典」を楽しむ(4時間)

単元のねらい 昔から読み継がれている物語を読み、昔の人のものの見方や考え方について知ったことをもとに、自分の考えが伝わるように書き表すことができる。

本時のねらい 作品の内容の大体を知ったり暗唱したりすることを通して、昔の人のものの見方や考え方について知ることができる。(第1、2時)

指導時期 11月

指導者用デジタル教科書(教材)活用の意図・目的

古典を教科書で初めて見た児童にとって、古典作品の文章は読みづらく、意欲をなくしてしまうことも少なくない。そんな児童にとっても、古典は『竹取物語』のように今まで見聞きしたことがあり、親しみやすいものと気づかせたい。

「指導者用デジタル教科書(教材)」の挿絵を見せることで、自分の見聞きしたことがあるものだと親近感をもったり、作品の世界を想像したりすることができる。また、「朗読」では、聞きたいときに何度でも繰り返し聞くことができる。紙の教科書では、くぎれやリズムを伝えることができないが、「指導者用デジタル教科書(教材)」を活用することで、それらを聞いて考えることができる。教師の範読や机間指導で一人一人に対応することなく、児童のタイミングに合わせて聞くことができるのは、相互の利点である。

本時(第1、2時)の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> 「指導者用デジタル教科書(教材)」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。 <p>本時の課題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『かぐやひめ』や『竹取物語』の表紙を示し、本時の学び(暗唱して、昔の人のものの見方や考え方を確認すること)を確認する。 	<p>● 親しみやすくするために、『かぐやひめ』や『竹取物語』の表紙を拡大して提示する。</p> <p>今も親しまれている『竹取物語』</p>

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	<p>『竹取物語』の中から、自分がわかる言葉とわからない言葉を見つけよう。</p> <p>現代でも使われている言葉、自分で意味がわかる言葉に印をつける。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①教師の範読を聞いて、復唱する。 ②個人でわかる言葉に印をつける。 ③ペアで現代語訳を話し合う。 ④全体で現代語訳を確認する。 <p>暗唱するために「朗読」を聞いて、繰り返し練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●個人で練習する際に、読み方がわからないところを聞いて理解する。 ●教師のところで、暗唱テストを受ける。 	<p>【国語マーカー】の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「国語マーカー」を使用し、わかる言葉に印をつける。 ●「ふせん」を活用して、現代語訳のメモを書いてもよい。 ●現代語訳に自信のある言葉と自信のない言葉でマーカーの色を変えてもよい。  <p>【朗読】の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「朗読」を使用し、聞きたい作品を選択する。 ●リズムやくぎれがわかるように「ペン・マーカー」で印をつけたり、線を引いたりしてもよい。 
	まとめ	<p>本時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ノートに本時の振り返りを記入する。 ●振り返りを共有し、見通しをもつ。

指導者用デジタル教科書(教材)を活用したことで得られた効果

「朗読」を使用することで、何度でも古典作品を聞くことができる。

- 教師による差のない音読を聞かせることができる。
- 教師が机間指導中に何度でも範読する時間を、困り感のある児童の対応や一人一人を見取る時間にすることができる。
- 聞いて終わるだけにならないように、暗唱という目的をしっかりとめさせることに留意する。
- 何度でも聞きながら音読したり暗唱したりすることで、文章の調子や、文語の響きに親しみやすくなる。
- 視写や音読が苦手な児童にも、聞くことで読んだり覚えたりする方法があることを教えられる。

「国語マーカー」を使うことで、児童の考えを整理できる。

- 聞き慣れない言葉の中にも、わかる言葉や現代でも使われている言葉があることに気づく。また、現代で使う言葉でも、昔は違う意味で使われていたことに気づく。
- 「国語マーカー」のついていない言葉の意味がわかれば、読めるようになる見通しをもてる。
- ペアで話し合っってわかったことも、自分の考えにつけたしてもよいことにする。